

千綿っ子だより

ちからを合わせて
わらい声あふれる
たのしい学校



小中連携

中学校の授業についていけるか心配
中学校では勉強と部活を両立できるか心配

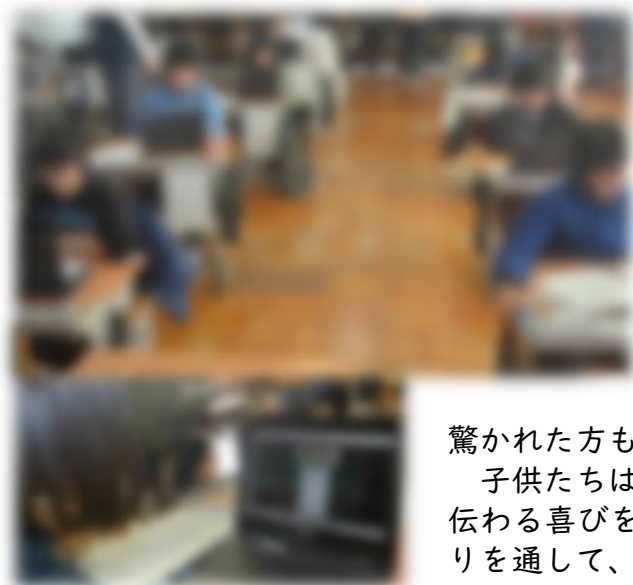
こんな声が聞こえてきました。小学校生活がまもなく終わろうとする6年生は、4月からの中学校生活に大きな期待を抱いていますが、一方で不安もあるようです。中学校ってどんな学習をするのだろうという不安を少しでも軽くするために、先日、東彼杵中学校から2名の先生をお迎えして、出前授業を行っていただきました。教科は、数学と英語です。とても分かりやすく楽しい授業で、子供たちも自然と笑顔があふれていました。数学の山口先生から「今日これだけでできたから最初の学習は大丈夫だよ」と声をかけられ、中学校での授業がとても楽しみになったようです。

このように、小学校と中学校との連結を緩やかにして、子供たちの不安を取り除き、中学校生活を充実したものにすることを目的に小中連携を進めています。今度は、卒業生がどのように中学校生活を送っているか、早い時期に中学校におじゃましたいと考えています。

ここ東彼杵町は、9年間の義務教育の中で、子供一人一人の成長を小学校・中学校の垣根をこえて見守る仕組みがしっかりと整っています。



英会話トライアル



左の写真をご覧ください。何やら耳にヘッドフォンをつけているのがおわかりになりますか。

実は、子供たちはタブレットの画面の向こうにいる外国の方と英語で会話をしています。マンツーマンで英会話に挑戦している様子です。小学校で外国語が教科化になり、5・6年生では週2回、英語の学習を行っていますが、今回は、その集大成として6年生がチャレンジしました。昔と大きく変化した授業風景に

驚かれた方もいらっしゃると思います。

子供たちは、生きた英語にふれることで、伝える楽しさや、伝わる喜びを実感していました。言語を介した人とのかわりを通して、新しい世界を広げている千綿っ子です。